

骨材のアルカリシリカ反応性試験報告書

AGEI 株式会社 殿
三重県津市安濃町戸島2510番地

国土交通省中部地方整備局 認知
〒510-0834

三重県四日市市新町丁目2番40号

三重県建設部 54-3706

三重県建設部 54-3736

一般社団法人 三重県建設資材試験センター
四日市試験場

承認署名者 場長代理 中村 尚子



2026年05月18日付けで依頼のあった持ち込み試料の試験結果は下記の通りでした。

- 試料の種類※ 砂利 40-20
- 産地及び岩種※ 安濃川流域 花こう岩を主とする。
- 採取場所※ 株式会社 安芸砂利 砂利工場
- 採取日※ 2026年05月15日
- 試験項目及び試験方法 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)
JIS A 1145 : 2022
- 試験実施期間 2026年05月25日 ~ 2026年05月26日
- 試験実施場所 一般社団法人 三重県建設資材試験センター
四日市試験場 分析室
- 試験結果及び判定

測定項目 繰り返し	アルカリ濃度減少量[Rc] (mmol/L)	溶解シリカ量[Sc] (mmol/L)	
		吸光光度法	
1	36	18	
2	36	18	
3	36	18	
平均値	36	18	
判定	無害		

[骨材のアルカリシリカ反応性の判定]

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。

- 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を”無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を”無害でない”と判定する。
- 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を”無害”と判定する。
- アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

【備考】

(注)※印は依頼者申請事項

全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目

